

炎天下の中、暑熱対策の宣伝活動

7月14日炎天下の中、金山駅の南口で消費税増税反対の宣伝行動を行いました。

愛商連から太田会長と鶴飼事務局長が駆け付け、12人が参加しました。

当日は参議院選挙期間中ということもあり、各党の候補者の宣伝カーが走る中、元氣いっぱい増税反対を訴えました。

最初にマイクを握った太田県連会長は、「消費税増税をしても、社会保障は、少しもよくなるらない。法人税の減税に使われた」と訴えました。

その後、三浦副会長が「アベノミックスの恩恵は、中小業者には全くない」、板平会



7.14宣伝行動終了後、全員で集合写真



署名を訴える役員

長が、「消費税が上がっても、中小業者は価格に上乗せができない」などと訴え、増税が中小業者の営業に大きな影響があることを話しました。

署名活動では、増税反対の商工新聞号外とティッシュと風船を配り、駅前を歩いている人が、署名をしてくれました。買い物途中に、寄つてくれた若い人や、これから高校野球の試合があるという高校生球児たちが、署名してくれました。「消費税が上がったら困る」と署名しながら話される方が多くいました。

連日の猛暑の中、増税反対を訴え45筆の署名が集まりました。

アベノミックスは中小業者にとって恩恵は何一つない！！



消費税は、中小業者は価格に転嫁できない

消費税ができてから社会保障は良くなっていない



何パーセントまで上がってしまうの？将来が怖い



おまおまな要家へ民商へ

開業にあたって心配

7月9日(火) 熱田東支部会員の小川さん(情報サーブス)の紹介で南区豊田のKさん(47歳)が入会されました。Kさんは、惣菜と雑貨販売、児童デーサーブスなどをはじめめる計画をされていました。近所に住む小川さんに、「開業にあたっていろいろなこと心配」と相談すると、「民商というところがあるよ。電話してあげるわ」と、早速、民商に連絡が入り来訪されました。法人設立後のたくさん書類を整えて安心の様子でした。

読者が記帳相談

豊明支部の読者Aさん(車の板金塗装)は、「毎月4万円、決算料20万円の記帳相談料は大変だ、儲かっているときには苦にならなかつたが、どこか相談できるところはないか」と、同じ支部の竹内推進委員長に相談がありました。

竹内さんは「民商はみんな教え合いながらやっている」と話、7月12日、竹内さんと事務局が再度民商について

て説明して入会申込み書に記載されました。

HPで民商に出会えた

7月17日、南区岩戸町の人材派遣業のYさん(37歳)が、ネットを見て民商を訪問。Yさんは派遣社員20人をかかえて、毎月の資金くり、労災の支払、昨年9月に設立した法人申告のことなど女性一人で見込んでいました。民商のHPを見て、「相談できる場所があった」と、民商の事務所へ相談に来て入会されました。

今、婦人部で、原水禁大会(8月7日、9日)に向けて「千羽鶴を折って長崎に届けよう」と取り組みをすすめています。

